

家庭学習の手引き

(保護者用)

家庭学習は、学校で学習したことをしっかりと身につけるために、また、自ら学ぶ習慣を身につけるためにとても大切なものです。

小学生のうちに家庭で学習する習慣が、後々の学力にも大きな影響を与えます。今のうちに身につけさせたいものです。

1 家庭学習のさせ方

- ① 担任から出る「宿題」を最初にさせてください。
- ② 時間が余ったら、「家庭学習のてびき(児童用)」の中から選んでさせてください。(5・6年生には自分で考えさせてもいいでしょう。)
- ③ どうしても勉強に飽きてしまう時は、読書やお絵かきでも何でも構いませんので、いつも「家庭学習をする場所」でさせてください。
- ④ 勉強が終わったら、次の日の準備をさせてください。

2 時間のめやす

学年×10分 以上

3 家庭学習における保護者の役割

①時間の確保

塾、習い事、スポーツなど子どもたちもいろいろと忙しいと思いますが、短い時間でも「勉強をする」習慣を身につけさせましょう。「何時から何時まで勉強する」ということを家庭でよく話し合っ、無理のないように時間設定をしてください。

②学ぶための環境づくり

例えば、テレビをつけながら勉強しても、効果は上がりません。お子さんが落ち着いた学習環境で学習できるように、各家庭で工夫したり話し合ったりしてください。

③見届け・励まし

お子さんが学習したことにできるだけ目を通してください。褒めたり励ましたりしてやることで、お子さんはどんどんやる気を出します。お子さんの様子を把握しながら、声かけをお願いします。

④学校との連携

お子さんの学習の様子で、気になることや困っていること、がんばっている様子など、どんな小さなことでも担任にお知らせください。

家庭学習のてびき

高学年用

家庭学習は、学んだことをもう一度ふり返り、確かな学力を身につけるものです。毎日こつこつと続けていくことが、あなたの生きる力を高めていくのです。

さあ、できるところから一歩を踏み出していきましょう。



規則正しい生活は、学力アップにつながります！！

- ① 早寝・早起き・朝ご飯・排便を。
- ② 家の手伝いを面倒がらずにやろう。
- ③ 自分から声を出して、周りの人にあいさつしよう。
- ④ 読書を進めよう。
- ⑤ ニュースに関心を持ち、できるだけ新聞を読もう。
- ⑥ 新しく発見したことや気になったことことは、本やコンピュータで調べてみよう。
- ⑦ 見通しを持って、用具や学習の準備をしておこう。
- ⑧ 毎日、学年×10分以上は、「勉強をする」習慣をつけよう。



宿題のほかに

こんな学習をしてみよう！！

できるところから！！

- ① はっきりとした声で音読の練習をする。(めあてをもって)
- ② 一日のふり返りとして、したことや思ったことを日記に書く。
- ③ ドリルなどを使って、筆順に気をつけながら漢字の練習を進める。
- ④ 今日の授業で勉強したことを、もう一度家庭学習のノートに写す。
- ⑤ ドリルなどの計算練習に毎日粘り強く取り組んでみる。
- ⑥ 分からない言葉を辞書で調べて、用例も書いておく。
- ⑦ テストやプリントで間違ったところをもう一度やり直してみる。
- ⑧ 教科書の言葉の広場の問題(国語)や練習問題(算数)を解いてみる。



家庭学習のてびき

中学年用



家庭学習は、学んだことをもう一度ふり返り、確かな学力を身につけるものです。毎日こつこつと続けていくことが、あなたの生きる力を高めていくのです。さあ、できるところから一歩を踏み出していきましょう。



規則正しい生活は、学力アップにつながります！！

- ① 早寝・早起き・朝ご飯・排便を。
- ② 家の手伝いを何かひとつでもいいので、すすんでやろう。
- ③ 自分から声を出して、周りの人にあいさつしよう。
- ④ 読書を進めよう。
- ⑤ ニュースに関心をもち、できるだけ新聞を読もう。
- ⑥ 新しく発見したことや気になったことことは、本やコンピュータで調べてみよう。
- ⑦ 毎日、学年×10分以上は、「勉強をする」習慣をつけよう。
- ⑧ 明日の学習や用具の準備をしておこう。

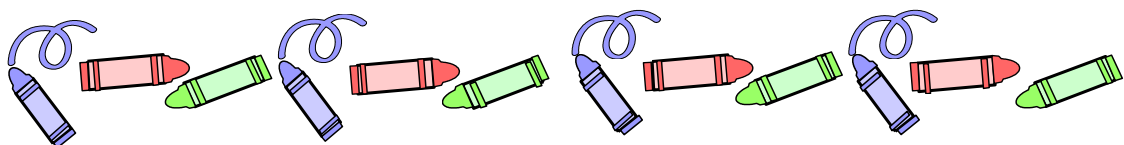


宿題のほかに

こんな学習をしてみよう！！

できるところから！！

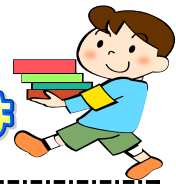
- ① はっきりとした声で音読の練習をする。（おうちの人に聞いてもらおう。）
- ② 一日のふり返りとして、したことや思ったことを日記に書く。
- ③ ドリルなどを使って、筆順に気をつけながら漢字の練習を進める。
(前学年の漢字も練習する。)
- ④ 今日の授業で勉強したことを、もう一度家庭学習のノートに写す。
- ⑤ ドリルなどを使って計算問題をたくさんといてみる。
- ⑥ 分からない言葉を辞書で調べて、用例も書いておく。
- ⑦ テストやプリントで間違ったところをもう一度やり直してみる。
- ⑧ 今日、学校で勉強したことをおうちの人に話す。



かていがくしゅうのてびき がくねんよう てい学年用



かていがくしゅうをするときには



- ① 1ねんせいはいじゅう、2年生は20分いじゅう、がんばってがくしゅうしましょう。
- ② はじめに、がっこうのしゅくだいをやりましょう。
- ③ じかんがあまったり、もっとがんばりたいときには、したのしかくからえらんでやりましょう。
- ④ テレビはけして、がくしゅうしましょう。
- ⑤ がくしゅうがおわったら、れんらくちょうをみて、あしたのがっこうのじゅんびをしましょう。
- ⑥ えんぴつはこのなかをたしかめましょう。



しゅくだいのほかに こんなこともがくしゅうしましょう。

- ① きょうかしょのぶんしょうをはっきりとしたこえで、ただしくすらすらとよめるようにれんしゅうしましょう。
- ② 「」のよみかたにきをつけて、よんでみましょう。
- ③ ひらがなやかたかなを、ただしくかくれんしゅうをしましょう。
- ④ かんじのかきじゅんやおくりがなにきをつけてかくれんしゅうをしましょう。
- ⑤ テストでまちがえたかんじやことばについて、ノートにただしくなおしてかいてみましょう。
- ⑥ きょうかしょのぶんしょうで、こころにのこったところやすきなところをのーとにかきうつしてみましょう。
- ⑦ にっきをかいてみましょう。(できごとをよくおもいだしてかきましょう。) また、かんじたことやおもったことをかならずかきましょう。
- ⑧ ほんをたくさんよみましょう。よみおわったら、ほんのだいめい、かいたひと、おもったことをみじかくかいておくといいですね。
- ⑨ さんすうのきょうかしょの「たしかめもんだい」をもういちどやってみましょう。
- ⑩ おうちの人と、とけいのよみかたのれんしゅうをしましょう。
- ⑪ がっこうでがくしゅうしたことをおうちの人にはなしましょう。
- ⑫ じぶんでおかねをだして、おかいものをしてみましょう。(おうちの人といっしょでもいいですよ。)
- ⑬ うんどうをしましょう(からだをうごかしましょう。)

